

平成 22 年度 財団法人田口福寿会事業報告

日本経済は、世界的な景気後退後の景気刺激策や海外経済の立ち直りにより回復基調を辿ってきてはおりますが、長引くデフレや円高を反映し、名目 GDP では過去 15 年間近く横ばい状態が続いております。

こうした経済状況下で、「21 世紀の我が国の社会を活力に満ちた社会として維持していく上で」重要な地位を占め、大きな役割を期待されているのが我々の民間非営利活動である、と当財団は自負しております。

平成 22 年度におきましても、当財団では、障害者の社会参加・復帰、自立事業への助成、児童・高齢者などの社会的弱者の福祉増進への寄与、世界と競争可能な人材を育成する教育への助成と奨学事業、知的で健康的な明るい社会づくりを目指す文化ならびに体育振興事業への助成などを通じて、当財団の基本理念である相互扶助の精神に基づき、不安のない老後、安全な社会、美しく清潔な国土、譲り合いいたわり合う人々が集う地域社会の形成に微力ながら貢献してまいりました。

当事業年度においては、多方面の公益事業に 3 億 3 千 2 百万円を助成してまいりました。その内訳は次のとおりです。

育英、奨学事業を始め、社会福祉全般に継続的かつ安定した支援助成を行い、教育、文化、体育、国際交流、地域社会の各分野にわたって幅広く振興助成を実施いたしました。

1. 田口育英金、タグチ・アカデミー・スカラーシップの育英事業 6,048 万円
2. 老人、身体障害者、知的障害者、児童、母子、その他福祉を含めた社会福祉助成 3,276 万円
3. 田口文庫、体育振興、教育文化振興の教育文化助成 2 億 2,402 万円
4. 海外留学生派遣および受け入れ、大学教官海外派遣交流の留学生助成 420 万円
5. その他申請団体助成 1,062 万円